

2007年9月7日

(これはロンドンにて9月6日に配信したものを、日本の皆様に向けて、抄訳したプレスリリースです)

スタンダードチャータード銀行、新アジア地域統括ヘッドを任命

アジア地域における銀行業務のエキスパートとして、ジャスパル・ビンドラが同地域でのガバナンス体制を展開

スタンダードチャータード銀行(本店:ロンドン、CEOピーター・サンズ)は、南アジア・東南アジア地域における最高経営責任者としてリージョナル・チーフ・エグゼクティブ・オフィサーの現職にあるジャスパル・ビンドラ(Jaspal Bindra)を、アジア地域統括ヘッドに任命しましたので、ここにお知らせいたします。同職は、韓国を除くアジア全地域における当行の事業規模・実績拡大および企業ガバナンスに責務を負います。

同氏は、当行グループ前取締役、カイ・ナルゴールワラの後任として、今後、企業ガバナンスの統括的役割を担います。カイ・ナルゴールワラは、スタンダードチャータード・ピー・エル・シー取締役、また、グループ運営委員会メンバーとしての役職を歴任し、当行の重鎮として多大な貢献を果たしてきましたが、本日付で辞任いたします。当行グループ会長、マーヴィン・デイビスは、同氏の辞任に際し、「これまで、グループの実績向上のために尽くされてきたことに感謝し、今後のご活躍を祈りたい」と述べています。

ビンドラ氏は、当行グループ事業部門であるスタンダードチャータード銀行の取締役を務めるとともに、当行グループのシニア・マネージメント・チームにおける主要メンバーでもあります。また、数々の取締役職(Standard Chartered Bank (Thai) PCL, Prime Financial Holdings Limited, Standard Chartered Bank Malaysia Berhad、SCOPE International (M) Sdn Bhd)、および、会長職(Standard Chartered Nepal Limited, Standard Chartered Bank (Mauritius) Limited、Scope International Private Limited, India)を兼任しております。

当行グループCEOであるピーター・サンズは、次のように述べています。「スタンダードチャータード銀行は、経営陣層の厚みを反映した健全な経営幹部継承計画を有しておりますが、今回の役員任命はその表れでもあります。ジャスパル・ビンドラは、ビジネスおよび企業ガバナンス分野で長年の経験を積んできた熟練のバンカーであり、1998年、インドのチーフ・エグゼクティブとして入行以来、当行における上級管理職として、数々の役職を歴任してきました。今回の、アジア地域統括ヘッドとしての同氏の任命は、アジア地域において当行のビジョンを実現するためには最適の人選であると考えています」

また、今回の任命に関して、ビンドラ氏は、「大変光栄に思います。アジアは、スタンダードチャータード銀行の心臓部分に当たる地域であり、同地域において、私どものステークホルダーの皆さん全員と、今後とも緊密に協力しながら仕事をしていけたらと考えています」と述べています。

* 当件に関するお問い合わせは東京支店コーポレートアフェアーズ部(Tel:03-5511-1245)にて受け付けます。

スタンダードチャータード銀行- アジア・アフリカ・中東地域における先駆者として

スタンダードチャータード銀行の最終持ち株会社であるスタンダードチャータード・ピーエルシーは、ロンドン証券取引所ならびに香港証券取引所に上場し、時価総額ベースでFTSE100 構成銘柄の上位25 社にランキングされています。

スタンダードチャータード銀行は、創立以来150 年以上の歴史を誇り、アジア太平洋地域・アフリカ・南アジア・中近東・欧州・英国・米州の世界57 カ国で、店舗数1,400 強(当行子会社・提携会社・ジョイントベンチャーを含む)の広範な地域拠点を網羅するグローバル・ネットワークを駆使し、世界で急成長を遂げる数多くの新興成長市場において、事業展開を行っています。

世界有数の国際的銀行として、全世界で100 以上の国籍のよって構成される60,000 人余名の行員を擁しています。この多様性は、私どもが持つ企業価値の真髄をなすものであり、また、世界がひとつの市場として統合されつつある現在、当行の企業成長を支えています。

スタンダードチャータード銀行は、その戦略的買収・提携、安定した財政基盤、多岐多様にわたる事業分野・金融商品・地域性、そして当行行員に支えられた堅調なオーガニック成長(買収等を含まない事業自体からの収益成長)により、アジア・アフリカ・中近東地域の急成長を続ける新興市場において、当行の優位性を確保しております。また、その総収益9 割強がアジア・アフリカ・中近東地域から計上されています。

スタンダードチャータード銀行は、世界各国で、個人および法人向けサービスに特化したコンシューマー・バンキング部門・ホールセール・バンキング部門による両面での業務展開を行っていることから、顧客の皆様には、グローバルな視点に立ち、かつ各地域で培った高い知識・ノウハウを駆使して、広範で革新的な金融商品・サービス、また、数々の賞に輝く、実力に裏づけされたファイナンシャル・ソリューションを提供しております。

また、当行グループで一律に適用される企業統治(コーポレートガバナンス)および企業責任(コーポレイトリスポンシビリティ)に基づき、地域社会との一体性・環境保護・望ましいコーポレートガバナンスを図り、長期的なスタンスに立ち、確実に、サステナビリティ(持続的成長)のある事業構築を行っております。

2006 年The Banker(ザ・バンカー)賞において、スタンダードチャータード銀行は「最優秀世界銀行賞(グローバル・バンク・オブ・ザ・イヤー)」をはじめ、アジア太平洋とアフリカの主要2 地域において「地域最優秀銀行賞」、6 カ国での「最優秀銀行賞」、および「最優秀CSR(企業の社会的責任)賞」を受賞しております。

日本・アジア地域におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜にはじめての駐在員事務所を開設した1880 年にさかのぼり、今年で127 年目を迎えました。現在では、東京支店(千代田区・山王パークタワー)および丸の内支店において、約250名の従業員を擁しています。スタンダードチャータード銀行は、アジア、アフリカ、中近東の各地域に投資する日本企業および銀行に対して、ホールセール(大口金融)、カスタディ、トレジャリーおよび貿易取引の各業務分野におけるサービスを提供、そして個人のお客様にはプライオリティバンキングサービスを提供しながら、さらなる成長を続けています。

世界におけるスタンダードチャータードのウェブサイト(英語): www.standardchartered.com

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(日本語): www.standardchartered.co.jp

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(英語): www.standardchartered.com/jp/index.html

日本におけるスタンダードチャータード銀行プライオリティバンキングのウェブサイト(日本語): www.standardchartered.co.jp/cb/pb/

スタンダードチャータード銀行 東京支店 コーポレート・アフェアーズ部

・森田 早智

Tel: 03-5511-1245

Sachi.Morita@jp.standardchartered.com

・部長 クリストファー・ドミター

Tel: 03-5511-1361

Christopher.Domitter@jp.standardchartered.com